

1. 略歴

1990年4月	東京藝術大学美術学部芸術学科入学
1994年3月	東京藝術大学美術学部芸術学科卒業
1994年4月	東京藝術大学大学院美術研究科日本・東洋美術史専攻修士課程入学
1996年3月	東京藝術大学大学院美術研究科日本・東洋美術史専攻修士課程修了
1996年4月	東京藝術大学大学院美術研究科美術専攻博士後期課程入学
2000年3月	東京藝術大学大学院美術研究科美術専攻博士後期課程修了、博士（美術）の学位取得
2000年4月	日本学術振興会特別研究員（PD）（2003年3月まで）
2004年4月	財団法人大和文華館学芸部部員（2005年9月まで）
2005年10月	東京工業大学大学院社会理工学研究科価値システム専攻助教授（2007年3月まで）
2007年4月	同 准教授
2012年4月	東京大学大学院人文社会系研究科准教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

日本美術史、主として中世絵画史

b 研究課題

中世やまと絵の研究、絵巻の研究

c 概要と自己評価

日本美術史とそれを取り巻く日本史や日本文学の分野において、全集や講座などのシリーズ刊行が相次ぎ、分野横断的に室町時代の造形文化を俯瞰する機会に恵まれた。あわせて、日本美術史に関する概説書を共同監修し、ここでも室町時代の造形美術全般をとらえなおすことを試みた。また、ブラジル・韓国において日本美術史の啓蒙的な講演を行った。国内外における中世絵画の作品調査を継続しており、作品論・作家論についてもなお一層の注力が課題である。

d 主要業績

(1) 著書

- 共著、高岸輝、『日本美術史（美術出版ライブラリー 歴史編）』、美術出版社、2014.4
共著、高岸輝、『岩波講座 日本歴史 第8巻 中世3』、岩波書店、2014.8
共著、高岸輝、『日本美術全集 第9巻 室町時代 水墨画とやまと絵』、小学館、2014.10
共著、Takagishi, Akira. *Between East and West: Reproductions in Art*. Osano, S. (ed.) Crakow, Poland, IRSA Publishing House, 2014.12
共著、高岸輝、『日本美術全集 第8巻 鎌倉・南北朝時代II 中世絵巻と肖像画』、小学館、2015.6

(2) 論文

- 高岸輝、「足利義教と美術—北山と東山をつなぐ」、『聚美』、13号、38-43頁、2014.10
Takagishi, Akira. The Reproduction of Engi and Memorial Offerings: Multiple Generations of the Ashikaga Shoguns and The Yūzū nenbutsu engi emaki, *Japanese Journal of Religious Studies* 42(1), pp.157-182. 2015.7
高岸輝、「中世の絵師と絵巻」、『日本文学論究』、75冊、6-9頁、2016.3

(3) 書評

- 綿田稔、『漢画師 雪舟の仕事』、ブリュッケ、『日本歴史』、792号、137頁、2014.5
笠嶋忠幸、『日本美術における「書」の造形史』、笠間書院、『日本歴史』、794号、120頁、2014.7
齋藤真麻理、『異類の歌合』、吉川弘文館、『日本歴史』、796号、118頁、2014.9
古田亮、『特講 漱石の美術世界』、岩波書店、『日本歴史』、798号、122頁、2014.11
平瀬礼太、『〈肖像〉文化考』、春秋社、『日本歴史』、800号、168頁、2015.1
東京大学史料編纂所編、『描かれた倭寇』、『日本歴史』、802号、121頁、2015.3
黒田日出男、『江戸名所図屏風を読む』、KADOKAWA、『日本歴史』、804号、119頁、2015.5
門脇むつみ、『巨匠・狩野探幽の誕生』、朝日新聞出版、『日本歴史』、806号、121頁、2015.7
太田智己、『社会とつながる美術史学』、吉川弘文館、『日本歴史』、808号、121頁、2015.9

植村峻、『紙幣肖像の近現代史』、吉川弘文館、『日本歴史』、810号、119頁、2015.11
安村敏信、『線で読み解く日本の名画』、幻戯書房、『日本歴史』、812号、150頁、2016.1
小野正俊・五味文彦・萩原三雄編、『木材の中世』、高志書院、『日本歴史』、814号、119頁、2016.3

(4) 解説

高岸輝、「釈迦堂縁起絵巻」第三巻第一段（清凉寺蔵）、『日本歴史』、800号、口絵頁、2015.1
高岸輝、「伝東常縁筆『古今和歌集』（群馬県立土屋文明記念文学館蔵）の見返し絵について」、群馬県立土屋文明記念文学館紀要『風』、18、1-4頁、2015.3

(5) 学会発表

国際、Takagishi, Akira. Emaki Studies: Past, Present, and Future, ORIENTS: Widening Frontiers International Meeting of Researchers on Oriental Art, São Paulo, Brazil, 2014.5.22
国際、Takagishi, Akira. Emaki Studies in Japanese Art History, 2015 Spring AHAK Conference: Art History in Korea in the Age of Asia, Seoul National University, Seoul, Korea, 2015.5.9
国内、高岸輝、「中世の絵師と絵巻」、國學院大學国文学会秋期大会シンポジウム「文化史の中世—文学史をとりまく武具史・絵画史・書道史—」、國學院大學、2015.11.28.
国内、高岸輝、「室町時代の縁起絵巻にみる古典復興の諸相」、古典知研究会、学習院大学、2016.1.10
国内、高岸輝、「矢代幸雄の絵巻研究」、矢代幸雄研究会、東京文化財研究所、2016.1.13

(6) 啓蒙

高岸輝、「淡青評論 2014年ブラジル、もうひとつのキックオフ」、『学内広報』、1457号、12頁、2014.8

(7) 監修

山下裕二、高岸輝、『日本美術史（美術出版ライブラリー 歴史編）』、美術出版社、2014.4

(8) 会議主催(チェア他)

国内、美術史学会全国大会、チェア、第1分科会、早稲田大学、2014.5.18
国際、l'École Internationale de Printemps à Tokyo、チェア、Troisième Session: Décoration/Decoration、Tokyo National Museum、2014.6.10

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

特別講演、Musée d'ethnographie Neuchâtel, Swiss, One look into the Japanese collections of the Musée d'ethnographie Neuchâtel. 2014.9
特別講演、東京大学文学部公開講座（北海道北見市常呂町公民館）、「絵巻の表現技巧」、2014.10
セミナー、Seoul National University, Seoul, Korea, Emaki Studies in Japan, 2015.5
特別講演、大和文華館、「聖者の群像、霊地の形象—「誉田宗廟縁起絵巻」「石山寺縁起絵巻」を読み解く—」、2015.9
特別講演、大阪府能勢町、「「槻峯寺建立修行縁起絵巻」を読み解く」、2015.10
特別講演、防府天満宮、「中世後期における縁起絵巻の再生と「松崎天神縁起絵巻」」、2016.2

(2) 学会

国際、国際美術史学会(CIHA)、国内委員、2014.3～
国内、美術史学会、常任委員、2013.5～